

## ■ 教育目的

病態生理学は、主要な疾患の成り立ちや病態（症状）を学ぶのが目的です。解剖生理に基づいた症状・疾患の成り立ちを理解できるようになることが最も重要です。特に主要5臓器について詳しく学習して、それぞれの臓器の病気に自信をもって答えられるようになることを目標とします。そのために後半は症例を学生に提示してもらい学生間で議論をする参加型授業を行うことによって表現力を養います。前半は黒板とスライドによるオーディオ・ビジュアル授業によって議論できる知識を身につけます。【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、SD-③】

## ■ 学習到達目標

1. 主要な臓器の原因疾患と病態生理が説明できる
2. 主要な疾患の頻度や予後、重症度や患者ケアがわかる
3. 生物進化の視点を病気の理解に応用できる
4. 臓器間をつなぐ疾患や病態を e ラーニングする
5. 体の巧みな仕組みについて理解を深め興味を持つ

## ■ 準備学習（予習・復習）

予習：毎回授業前までに過去の授業ビデオを MYCAST で視聴（30分）。症例検討会では事前の予習が必須です。復習：臓器別にサブノートを作成（20分）。

## ■ 授業内容

前半はスライド・黒板を活用した講義形式で総論と主要5臓器を2回ずつ学習します。後半の症例検討会は指定学生グループ（プラクティカント）による症例発表と質疑応答、最後に教員による解説によって臨床推論を習得する参加型授業です。出席を重視します（授業後にケースレポートを提出）。講義と演習で各臓器の病態生理の理解を深めます。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	病態生理学総論1	病気の原因、疫学、フィジカルアセスメント。	E1(2)
2	病態生理学総論2	症候学、検査法、予後、治療法。	E1(2)
3	循環器1・呼吸器1	心不全、虚血性心疾患、肺炎、肺結核	E2(3)-①-2,3 E2(6)-③-1
4	消化器1	胃腸疾患	E2(4)-②-1,2
5	神経内科1・腎臓1	脳血管障害、変性疾患、ネフローゼ症候群	E2(1)-③-8,9,10 E2(3)-③-3
6	循環器2	高血圧症、不整脈、弁膜症、先天性心疾患	E2(3)-①-4,1,5
7	呼吸器2	気管支喘息、肺炎腫、肺線維症	E2(4)-①-1,2,3
8	消化器2	膵炎、肝疾患、胆石症	E2(4)-②-3,4
9	神経内科2	頭痛、てんかん、筋疾患	E2(1)-7,11,14
10	腎臓2	腎不全、透析、腎移植	E2(3)-③-2
11	循環器疾患	症例検討会（レポート提出）	E2(3)-①
12	呼吸器疾患	症例検討会（レポート提出）	E2(4)-①
13	消化器疾患	症例検討会（レポート提出）	E2(4)-②
14	神経疾患	症例検討会（レポート提出）	E2(1)-③
15	腎臓疾患	症例検討会（レポート提出）	E2(3)-③

## ■ 授業分担者

越前宏俊（No.1,2）、石橋賢一（No.3-15）、田中靖子（No.11-15）

## ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

MYCAST を利用して復習し、疑問点はオフィスアワーを利用して下さい。期末試験 80%、出席（レポートを含む）20%で評価します。

## ■ 教科書

必要に応じてプリント、演習問題を配布します。

## ■ 参考書

navigate シリーズ (医学書院:2013~2017) : 循環器疾患、神経疾患、腎疾患、呼吸器疾患、消化器疾患